

# 平成20年3月期(第11期) 本決算説明会

平成20年5月19日

株式会社Jストリーム

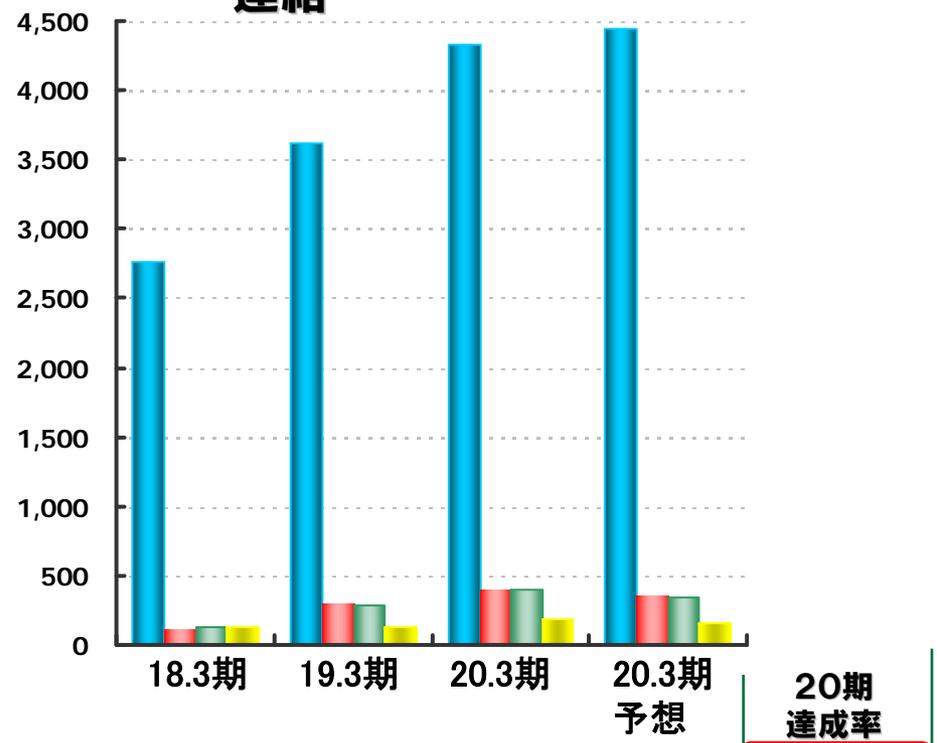
# 決算ハイライト P/L

	第11期 (連結) A	第11期 (個別)	第10期 (連結) B	増減比 (A:B)
売上高	4,333,053 (100%)	4,070,526 (100%)	3,612,033 (100%)	(+20.0%)
売上原価	2,451,577 (56.6%)	2,336,175 (57.4%)	2,097,491 (58.1%)	(+16.9%)
売上総利益	1,881,475 (43.4%)	1,734,350 (42.6%)	1,514,542 (41.9%)	(+24.2%)
販売費及び 一般管理費	1,483,565 (34.2%)	1,367,774 (33.6%)	1,213,917 (33.6%)	(+22.2%)
営業利益	397,909 (9.2%)	366,576 (9.0%)	300,625 (8.3%)	(+32.4%)
経常利益	401,492 (9.3%)	403,791 (9.9%)	280,920 (7.8%)	(+42.9%)
税金等調整前 当期純利益	365,193 (8.4%)	367,132 (9.0%)	236,106 (6.5%)	(+54.7%)
当期純利益	194,854 (4.5%)	201,869 (5.0%)	131,838 (3.7%)	(+47.8%)

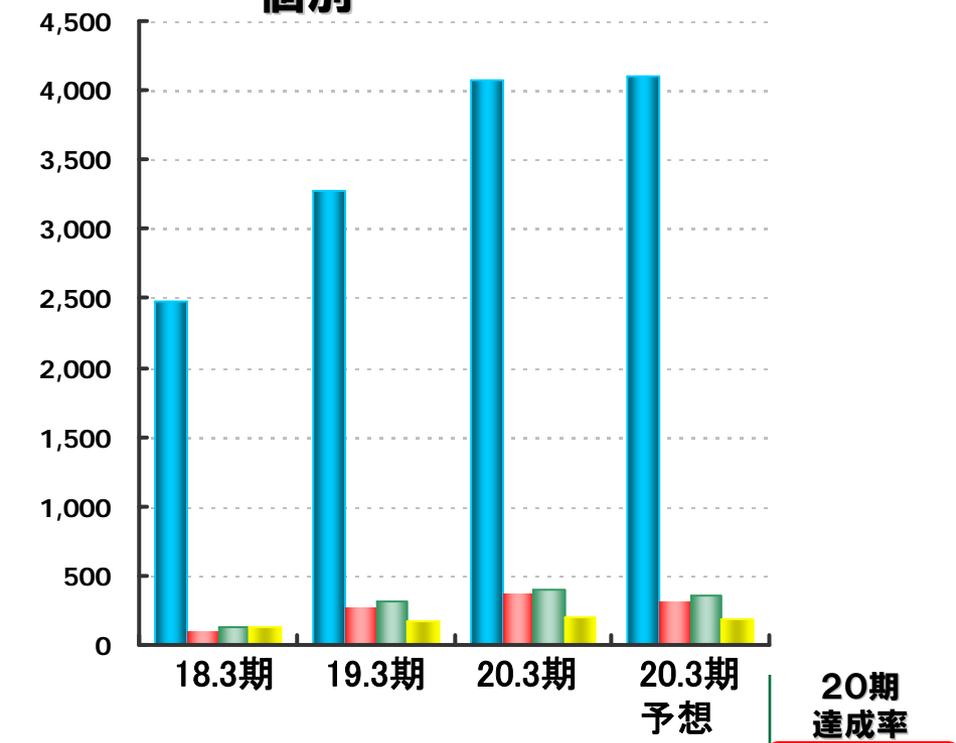
▶ 前期対比売上高20%増。配信原価低減により粗利率改善。人員増や増床等の強化施策に伴い販売費及び一般管理費は増加しているが、営業利益率は0.9ポイント、経常利益率は1.5ポイント改善。

# 通期予想達成度

## 連結



## 個別



	18.3期	19.3期	20.3期	20.3期 予想	20期 達成率
売上高	2,761	3,612	4,333	4,450	97.4%
営業利益	114	300	397	360	110.3%
経常利益	135	280	401	340	117.9%
純利益	123	131	194	160	119.4%

	18.3期	19.3期	20.3期	20.3期 予想	20期 達成率
売上高	2,481	3,271	4,070	4,100	99.3%
営業利益	93	269	366	320	114.4%
経常利益	129	310	403	360	111.9%
純利益	122	169	201	190	105.8%

# バランスシート (連結)

		第11期末	主な変動要因
資産の部	流動資産	3,040,312	
	固定資産	1,103,682	
	有形固定資産	216,890	▶ 器具備品(ストレージ等)が増加
	無形固定資産	438,690	▶ のれん +201百万円 (エンターメディア社連結化) ソフトウェア △22百万円 castella関連 減損処理を実施
	投資その他の資産	448,101	
資産合計		4,143,995	
負債の部	流動負債	712,557	
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379
		資本剰余金	1,430,642
		利益剰余金	△249,057
	少数株主持分	67,473	
	純資産合計	3,431,437	投資有価証券 +155百万円 エル・カミノ・リアル 130百万円出資 VCファンド出資金払込進行
負債・純資産合計		4,143,995	

		第10期末	
資産の部	流動資産	3,126,500	
	固定資産	714,965	
	有形固定資産	165,521	
	無形固定資産	265,390	
	投資その他の資産	284,053	
資産合計		3,841,466	
負債の部	流動負債	602,897	
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379
		資本剰余金	1,430,642
		利益剰余金	△443,912
	少数株主持分	69,459	
	純資産合計	3,238,568	
負債・純資産合計		3,841,466	

▶ castella関連のソフトウェア減損損失を計上(35百万円)  
 その他は子会社の取得、出資関連での変動のほか大きな異動はない。

※第11期構成比率順 単位:千円

	第11期		第10期		備考
	金額	比率	金額	比率	
外注費	856,313	(34.9%)	715,927	(34.1%)	人的費用の合計 11期 1,564百万円 10期 1,341百万円 (+16.6%)
労務費	527,386	(21.5%)	427,631	(20.4%)	
通信費	335,220	(13.7%)	318,085	(15.2%)	
ロイヤリティ	281,343	(11.5%)	197,557	(9.4%)	ロイヤリティ: 携帯電話向け FlashCast関連ライ センス料の支払いが 増加
業務委託手数料	180,822	(7.4%)	197,665	(9.4%)	
賃借料	75,119	(3.1%)	80,030	(3.8%)	増床により家賃 増加
保守料	71,583	(2.9%)	68,715	(3.3%)	
ソフトウェア償却	68,623	(2.8%)	63,471	(3.0%)	
減価償却費	64,833	(2.6%)	59,135	(2.8%)	
地代家賃	53,139	(2.2%)	39,244	(1.9%)	
その他及び他勘定振替	△ 62,803	(△2.6%)	△ 69,969	(△3.3%)	
売上原価合計	2,451,577	前年比 + 16.9%	2,097,491		

通信費の全体に占める割合は減少。人的費用による負担は前年並に留まる。外注費は4Qの受注増に伴い増加、例年並み水準に。映像フォーマット利用のためのロイヤリティ支払(Flash中心)が急増。

※第11期構成比率順 単位:千円

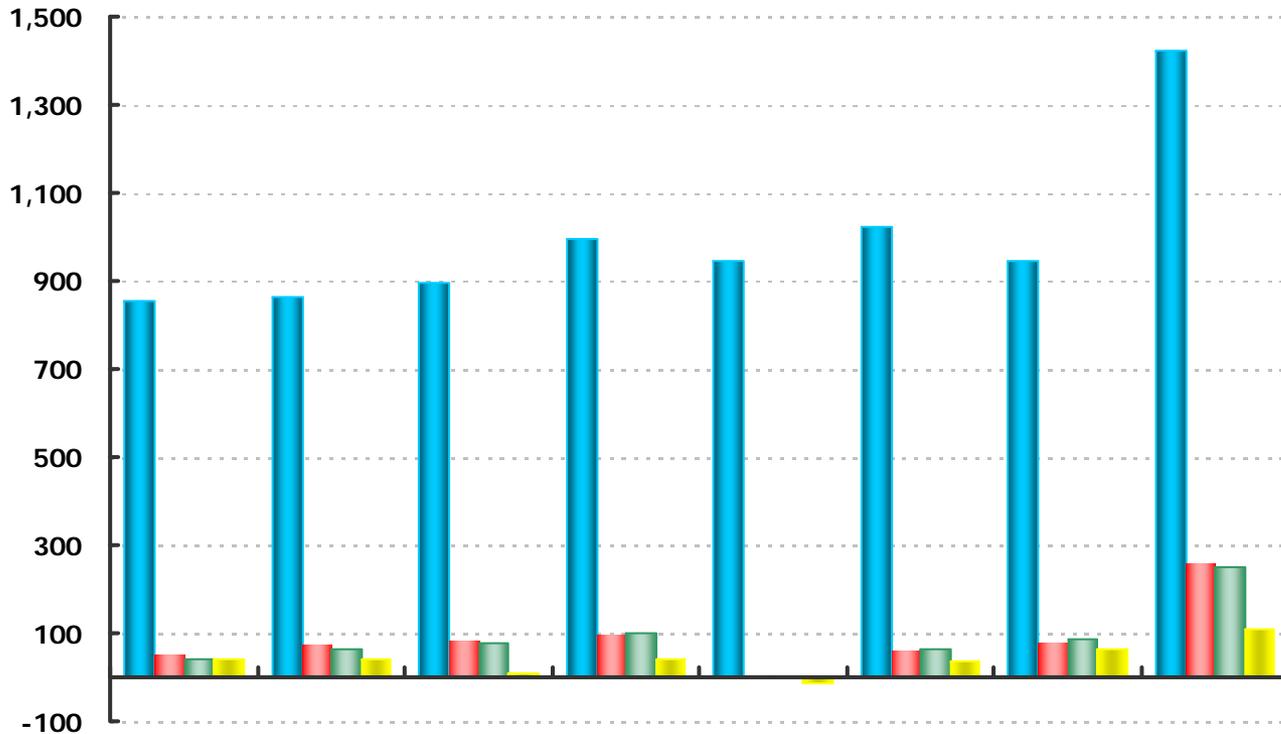
# 販売費及び一般管理費主要項目 (連結)

	第11期		第10期		備考
	金額	構成比率	金額	構成比率	
人件費	761,268	(51.3%)	631,628	(52.0%)	
販売促進費・広告宣伝費	138,349	(9.3%)	104,717	(8.6%)	
地代家賃	69,956	(4.7%)	53,120	(4.4%)	
業務委託手数料	59,165	(4.0%)	37,763	(3.1%)	
販売支援費	55,533	(3.7%)	65,044	(5.4%)	
研究開発費	45,791	(3.1%)	34,344	(2.8%)	
支払手数料	39,838	(2.7%)	24,458	(2.0%)	
交際費	36,310	(2.5%)	9,669	(0.8%)	
求人費	32,178	(2.2%)	37,579	(3.1%)	
株式関係費	26,364	(1.8%)	31,493	(2.6%)	
その他 <small>(雑費、旅費交通費、支払手数料、賃借料等)</small>	218,813	(14.8%)	184,102	(15.2%)	
販売費及び一般管理費 合計	1,483,565	前年比+22.2%	1,213,917		

◆ブランドサイト構築や、ITメディア露出を中心とした販売促進策推進に伴い販促費・広告宣伝費が増加。

(単位:百万円)

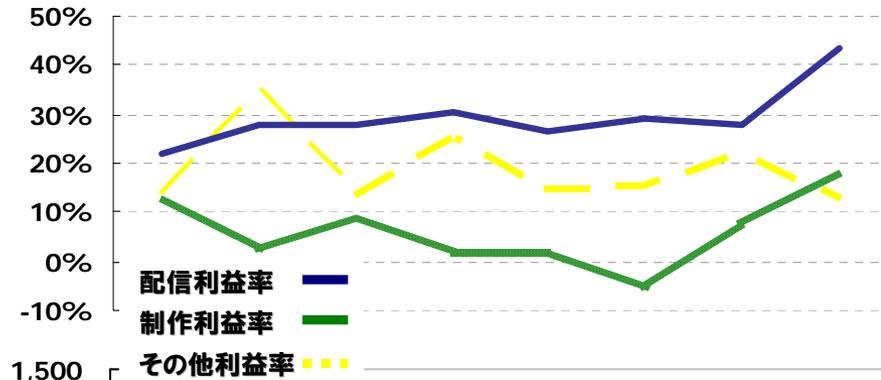
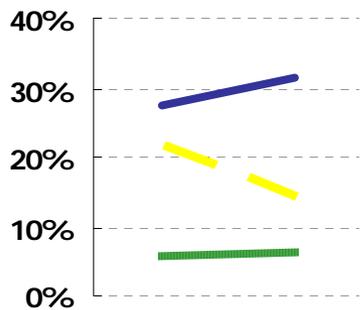
# 四半期別利益推移 (連結)



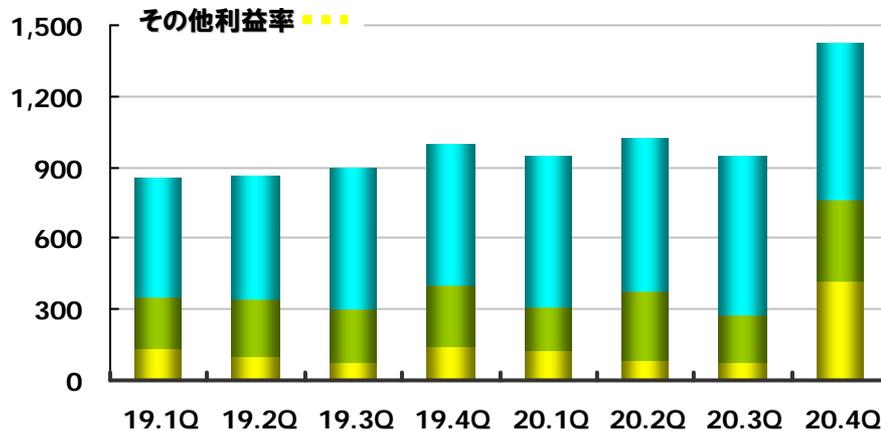
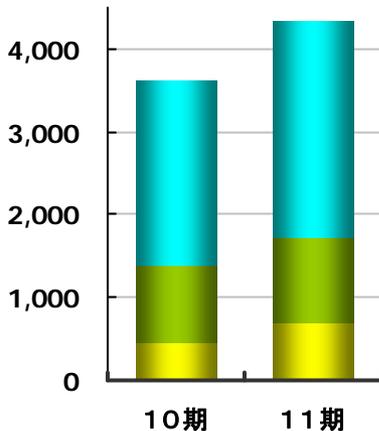
- ◆ 1Q: 売上の増加傾向は堅持。第4四半期からの反動も最小限度にとどまる。利益への増床やカンファレンスなどの一時要因の影響が大きい。
- ◆ 2Q: 制作の原価率が高く利益伸び悩み。
- ◆ 3Q: ほぼ1Qと同様の水準。一時支出がないだけ利益計上できている。(去年同期対比+17%)
- ◆ 4Q: 携帯関連領域の大型案件(開発)、大型制作案件等の影響で利益率、売上共大幅に改善。

	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q
売上高	856	863	894	997	944	1,021	946	1,421
営業利益	51	71	81	98	5	57	78	258
経常利益	42	63	76	101	△0	65	89	249
経常利益率	4.9%	7.3%	8.5%	10.1%	△0.0%	6.3%	9.3%	17.5%
純利益	43	39	8	42	△15	36	66	108

# 連結セグメント売上／利益状況



- ◆ 1Qは小型の制作案件が多く内製の増加により利益水準は平均的。
- ◆ 2Qは大口の制作案件増加するが制作子会社業績の影響、大型案件の外注比率が高かったことなどにより制作としての利益率は低下している。
- ◆ 3Q: 配信売上は前四半期対比30百万円増加。制作利益率は案件規模の関係から改善している。
- ◆ 4Q: モバイル開発案件の影響でその他の部門の売上が大幅増。



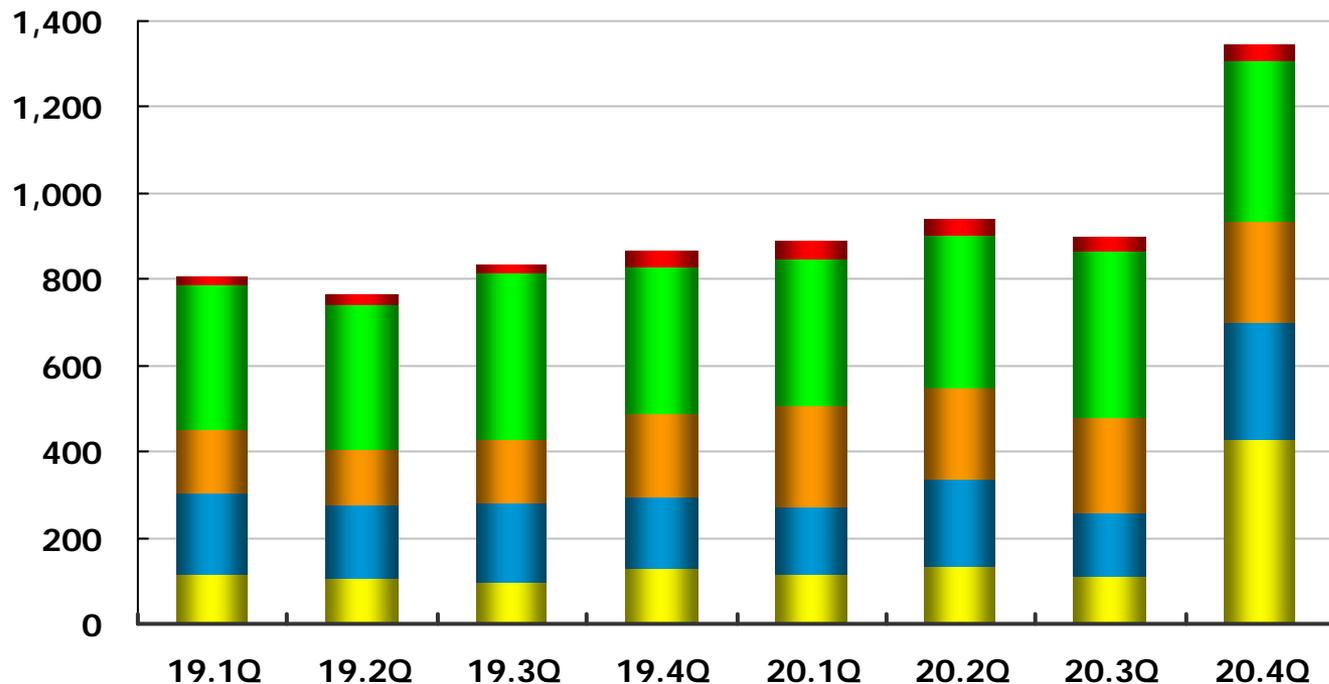
	10期	11期		19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q
配信	2,214	2,606	配信	503	518	596	596	636	640	670	659
	27.3%	31.7%		22.3%	27.8%	27.9%	30.6%	26.6%	29.1%	27.6%	43.4%
制作	946	1,022	制作	217	250	219	260	182	293	202	344
	5.9%	6.4%		12.5%	2.2%	8.7%	1.7%	2.0%	Δ5.2%	7.8%	17.9%
その他	451	704	その他	135	97	78	140	125	87	73	417
	21.7%	14.4%		13.5%	34.8%	13.2%	25.2%	14.7%	15.5%	22.0%	12.8%
合計	3,612	4,333	合計	856	865	894	997	944	1,021	946	1,421

## 連結セグメント／費用／利益

	売上高	営業費用	営業利益
配信	2,606	1,780	826
制作	1,022	956	65
その他	704	602	101
	4,333		

※セグメント間の振替や消去分を含む詳細は決算短信 p.32をご参照ください。

# 商品別売上推移(個別)



◆ オンデマンドは新規の大口定例案件の創出・獲得がはかどらず微増に留まる。

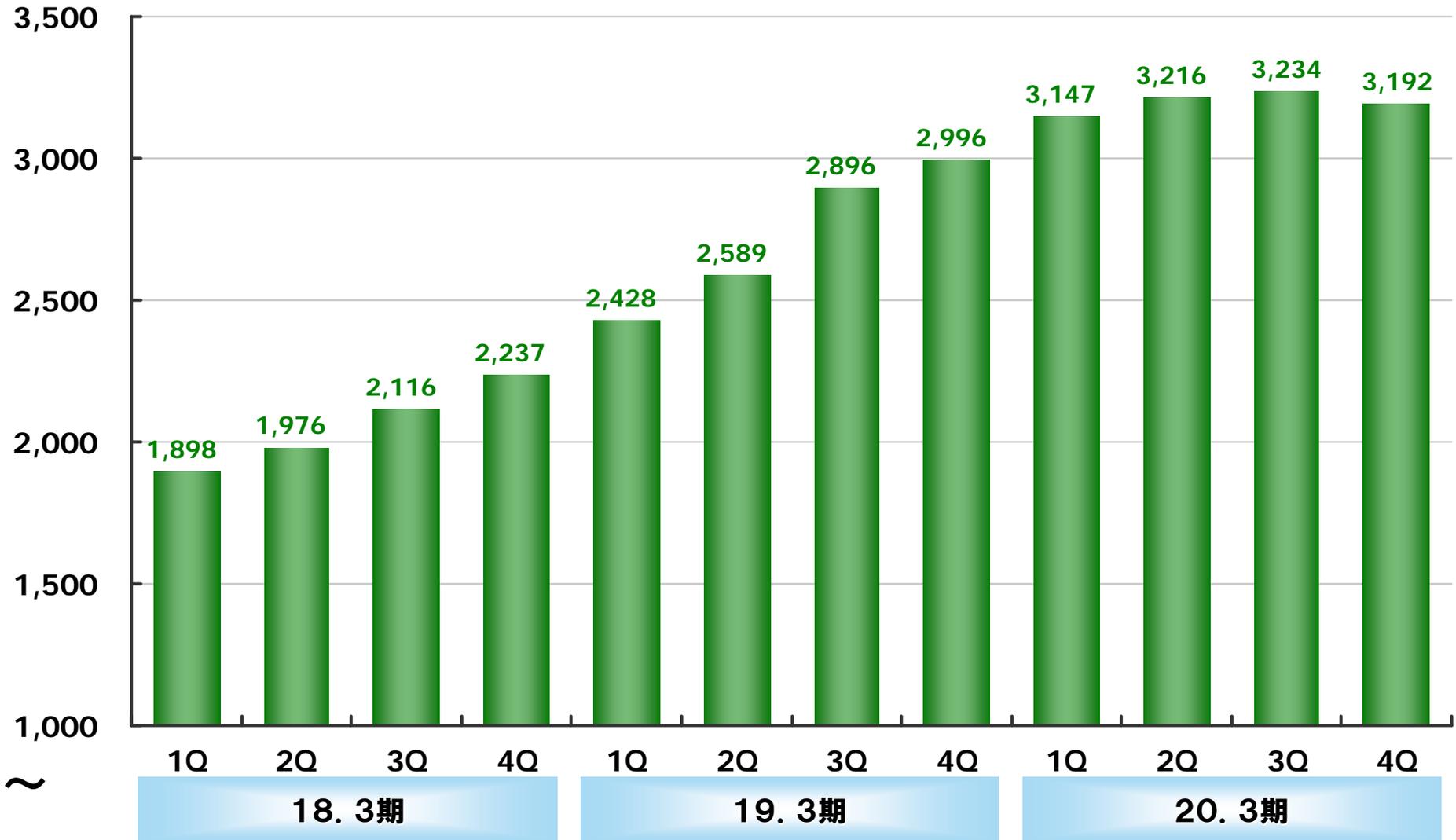
◆ 携帯電話を利用したプロモーション増加に伴いモバイルが好調。2Q、3Qと1Qを下回っているが下記大型案件に注力した影響大。

◆ 4Qの制作はサイトインターフェース改善の大型案件獲得や期末に伴う増加があり伸長。

◆ 4Qは大型開発案件のためその他売上が伸長

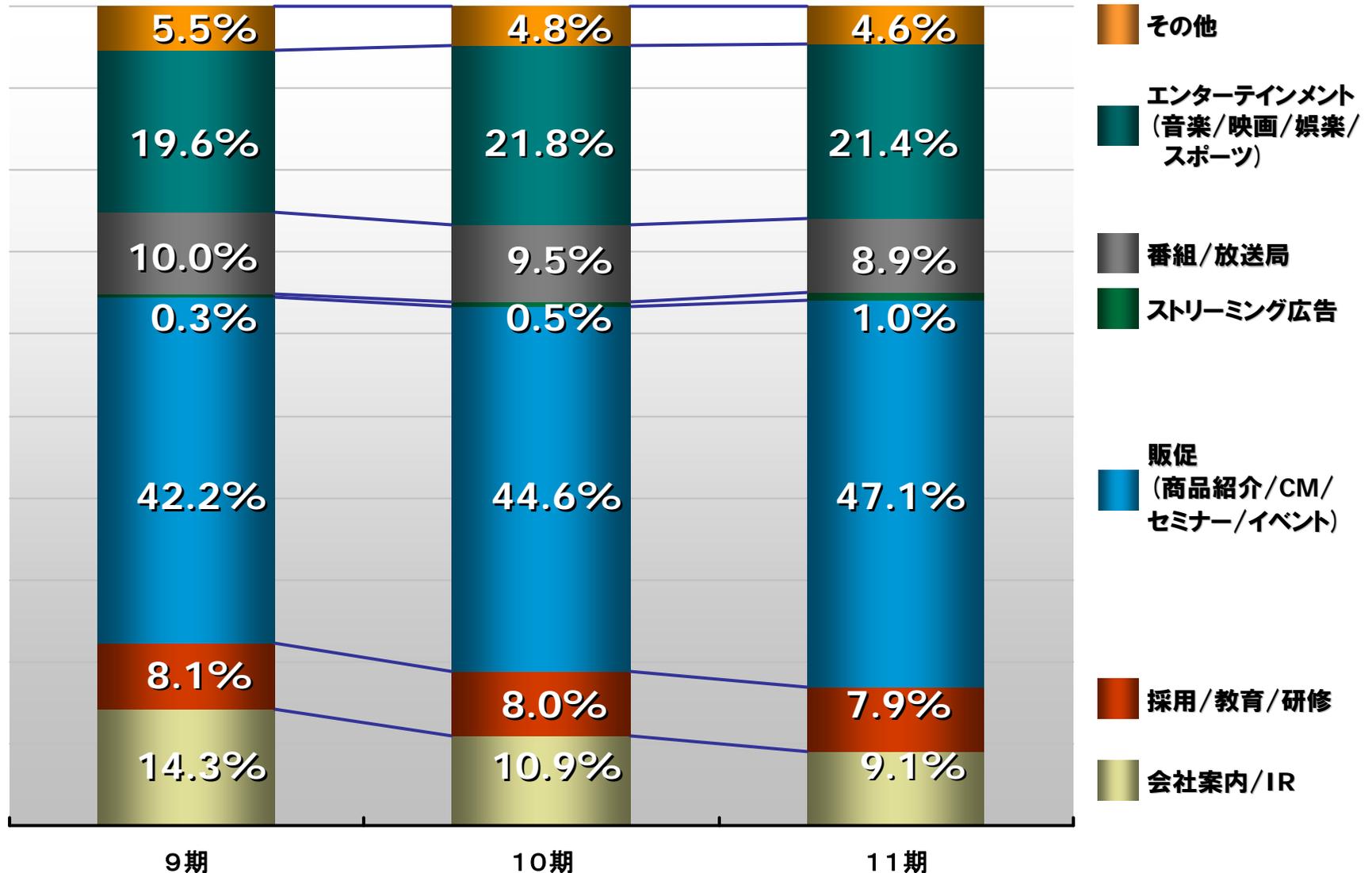
ライブ	18	23	18	37	41	36	31	36
オンデマンド	333	337	386	341	343	355	385	373
モバイル	148	130	146	195	233	210	221	235
制作	189	169	184	165	156	202	148	267
その他	114	105	96	126	116	134	110	429
合計	804	766	832	867	891	939	897	1,343

# 取引案件数動向



▶ 4Qは大型案件への体制シフトから案件数は減少。  
なお大型案件除きでも取引単価は改善している。

# 利用シーンの件数比率推移



▶ **リッチコンテンツを利用したプロモーションの比率が高く、伸び率も高い。**

# 投資実績

投資戦略	投資項目	11期実績	
<p><b>サービス強化</b></p>	<p>配信容量の増加をコストを抑えつつ実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネットワーク機器／キャッシュサーバ／サーバ 増設 26</li> <li>■ ライブエンコード、制作強化 21</li> <li>■ モバイル配信サービス強化(Jmods、Flash対応など) 音声配信システムソフトウェア、DBなど 39 サーバー等 65</li> </ul>		
<p><b>サービス 開発系投資</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Jフラット改良・強化</li> <li>■ グリッド配信(P2P)システム関連</li> <li>■ PC以外の機器へのコンテンツ配信サービス対応 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 33</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">233</p>	
<p><b>社内システム</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売管理・原価管理システム強化</li> <li>■ メールサーバー増強</li> <li>■ J-SOX対応体制</li> <li>■ その他設備・ソフトウェア</li> <li>■ オフィス拡張に伴う投資</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 29</p> <p style="text-align: right;">18</p>		

# その他のニュースについて

## エンターメディア社を子会社化

イメージクエストインタラクティブ社の民事再生手続きに伴い、同社のメディア&コマース事業（会員制携帯電話サイトやその制作事業）を株式会社エンターメディアとして切り出し子会社化。ミュージシャン／アーティスト所属事務所などの顧客を多く持つ。

増資引き受け、融資などにより200百万円程度の資金供給を実施、当社コンテンツ・ビジネス・サポート部長（元）が代表者となり事業推進。

## アッカ・ネットワークスより企業向け映像コミュニケーション分野事業を譲受決定

アッカ社が展開していた企業向け映像コミュニケーション分野の事業を譲受する。  
（顧客及び人的資産が対象／サーバー等機器は含まず）

コンテンツ系を含む企業の情報提供系ウェブサイトでの配信案件が多く当社インフラの活用で効率的に売上増加を実現。

アッカ社とは今後案件の紹介など事業連携を推進していく予定。

譲受価格：5百万円（9月実施予定）

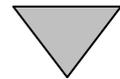
平成19年12月期のアッカ社における売上：97百万円

# 12期 事業戦略

# 12期 事業方針

## 【事業計画を考えるキーワード】

- ◆ マス媒体とのクロスメディアで重要性が増す、企業ネットマーケティング
- ◆ PCとの連動も含め一般企業へもマーケットを拡大するモバイル市場
- ◆ 事業化検討のフェーズに入ってきたコンテンツビジネス市場
- ◆ 内部統制の本格導入と、推進体制の確立



## 【当期事業方針】

**『強固な企業体質の確立』**

**企業グループ経営体制の確立と収益性追求**

# セグメント別 戦略ポイント

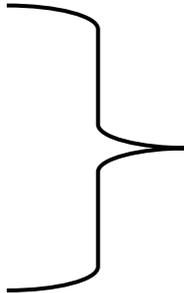
## 配信 セグメント

- ◆ 大型配信案件を中心に価格戦略の見直し(競合対策も含む)
- ◆ 拡大するモバイル配信案件の取り込み
- ◆ 企業プロモーション、キャンペーン利用の更なる獲得
- ◆ メディア企業、大規模CP事業者の配信サイトへのアプローチ
- ◆ パートナー販売、ダイレクト販売スキームの確立

## 制作 セグメント

- ◆ PIPに続く、Jストリームらしいリッチコンテンツ表現手法の開発
- ◆ 制作案件の企画、デザイン等における競争優位性の確保
- ◆ モバイル制作・開発案件の増加に対応する人員・体制づくり
- ◆ 利益率向上の推進
- ◆ グループ制作体制づくり

# 投資計画

投資戦略	投資項目	12期計画
<p><b>サービス強化</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネットワーク機器／キャッシュサーバ／サーバ 増設、ログ管理強化など 114</li> <li>■ HDなど高品質化対応 6</li> <li>■ モバイル配信サービス強化 63</li> <li>■ 個別サービス強化 (Jフラット、ライブサッカーJ、Webinar 等) 60</li> <li>■ その他新規事業系</li> </ul>	<h1>373</h1>
<p><b>社内システム</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務支援システム強化</li> <li>■ メールサーバー増強</li> <li>■ J-SOX対応体制</li> <li>■ その他設備・社内用アプリ等</li> <li>■ オフィス拡張に伴う投資</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>71</p> </div>	

# 第12期業績予想

(単位:百万円)

	通期		上半期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	<b>5,000</b> 11期実績比+15.4%	<b>4,550</b> 11期実績比+11.8%	<b>2,390</b> 11期実績比+21.6%	<b>2,170</b> 11期実績比+18.6%
営業利益	<b>425</b> 11期実績比+7.1%	<b>410</b> 11期実績比+12.0%	<b>105</b> 11期実績比+69.4%	<b>100</b> 11期実績比+63.9%
経常利益	<b>440</b> 11期実績比+9.7%	<b>445</b> 11期実績比+10.4%	<b>110</b> 11期実績比+71.9%	<b>120</b> 11期実績比+42.9%
当期純利益	<b>225</b> 11期実績比+16.0%	<b>240</b> 11期実績比+19.4%	<b>40</b> 11期実績比+90.5%	<b>54</b> 11期実績比+45.9%

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。